

横浜市 浸水ハザードマップ (金沢区)

保存版

1 情報の入手方法と日頃からの備え

災害が発生する危険性が高まり、避難が必要が生じた場合に、横浜市は「高齢者等避難」(避難指示)のほか「屋内での安全確保措置」の指示を発令します。

「情報の入手方法と日頃からの備え」をご覧ください
浸水想定区域以外の方も、日頃から浸水に備えておくことが重要です。

あなたのお住まいや職場で浸水が発生するおそれがありますか?
[内水ハザードマップ] (下水道水路からの浸水)
[洪水ハザードマップ] (河川氾濫による浸水)
[高潮ハザードマップ] (高潮による浸水)の、浸水想定区域を確認しましょう。

マイ・タイムラインを作成しよう
マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これらに起因するかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画です。

横浜市 令和6年10月発行

自動配信されるもの(PUSH型)

- 横浜市防災情報メール 事前登録
あらかじめ登録したパソコン・携帯電話に防災情報等が配信されます。
- 防災アプリ 事前登録
[Yahoo!防災速報]アプリをインストールしていただくことで、横浜市の防災情報等をスマートフォン等で受信できます。アプリをインストール
- ファックス
避難障害者の方の自宅(事前登録)、高潮及び洪水浸水想定区域内の要保護者施設等の事業所に配信します。
- 緊急通報メール
緊急通報メールに対応した携帯電話に配信されます。
- 親水地点警報装置
屋外スピーカーからの音声放送やサイレンにより、災害発生時の危険性や避難情報等をお知らせします。
- 緊急警報放送
テレビ・ラジオ等から警報音を発し、重要な緊急災害情報を放送します。
- 広報車等による広報
状況に応じて、必要な地域へ広報車が出勤します。また、職員を派遣したり、消防ヘリコプターを出勤させることもあります。

自分で情報収集するもの(PULL型)

- ホームページ
横浜市 防災情報
横浜市防災情報ポータル
現在の雨量の動きや今後の動きを確認することができます。
- 降水ウエキャスト
現在の雨量の動きや今後の動きを確認することができます。
- 横浜市トップページ(緊急情報)
- X(横浜市防災Twitter) @yokohama_saigai
- テレビ(tvk、ケーブルテレビ、データ放送など)
- ラジオ(コミュニティFMなど)

ハザードマップで自宅と避難場所を確認しよう

- 自宅付近が浸水したときにのりい水深になるかを確認しよう。
- 自宅から避難場所までの複数の道順や方向を、ハザードマップに書き込みましょう。

なお、災害の状況により、開設する避難場所は異なります(ハザードマップ参照)。避難する際は、市・区ホームページ等で開設している避難場所を確認してください。

避難時の持ち出し品を確認しよう

- 避難時の持ち出し品は日頃から準備し、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。
- 持ち出し品はできるだけ少なくしよう(ラジオ、飲料水、懐中電灯、医薬品、ベビー用品、マスクなど)。また、リュックバックなど、両手があくもくにも収まる程度にしよう。
- 避難場所には食料、水、タオルなど、必要なものを持参しよう。

避難の考え方

●身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

- 安全な場所へ避難(水平避難)
(避難場所) 近隣の公園、土砂災害警戒区域及び浸水想定区域外の施設(指定)など
- 高層の2階以上または、近隣の高い建物へ避難(垂直避難)
浸水想定区域外の高層ビルなど
- 隣り所へ声をかけ合う
高齢の方、子ども、障がいのある方は避難行動を助けるため、早めの避難が必要である。地域の皆さんで協力し合って安全に避難しよう。
- 安全な経路で避難しよう
河川沿いや急傾斜地(崖)沿いの道は避けて避難しよう。大雨により、道路やマンホールの蓋が外れている場合があるため、転落しないよう十分に注意して、近寄らないようにしましょう。
- 地下街・地下施設の浸水は危険です
浸水の危険性などを知り、速やかに地上に避難しよう。

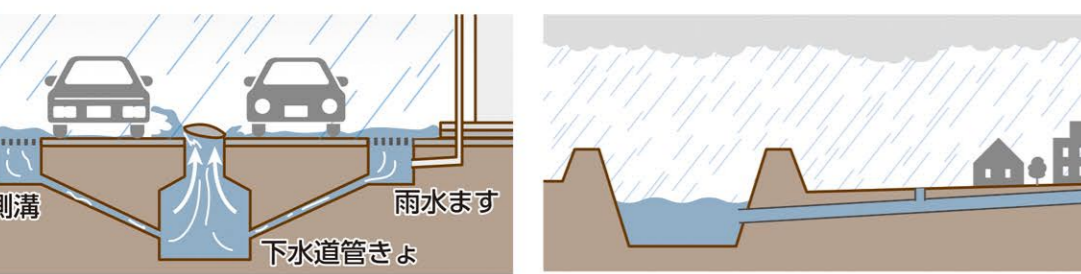
お問合せ先(平常時)

お問い合わせ内容	取り扱部署	連絡先
地域防災・避難等に関すること	金沢区役所総務課防災担当	788-7706
人命救助・救助に関すること	金沢消防署	781-0119
道路・下水道・公園に関すること	金沢土木事務所	781-2511
建に関すること	横浜市建築局建築防災課	671-2948
河川管理区域の河川に関すること	国土交通省関東地方整備局河川事務所	503-4000
河川管理区域外の河川に関すること	神奈川県横浜川崎水務事務所	411-2500
内水	横浜市下水道河川局管理課	671-2855
高潮	横浜市下水道河川局管理課	671-2838
洪水	神奈川県土木整備局河川課	210-6514
浸水ハザードマップ全般について	横浜市総務局危機管理課地域防災課	671-2011
内水ハザードマップ全般について	横浜市下水道河川局管理課	671-2838

2 内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について



宅地に降った雨は雨水す、道路に降った雨は道路側溝などに集まり、下水道や水路等を通じて河川に排水されます。



内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。

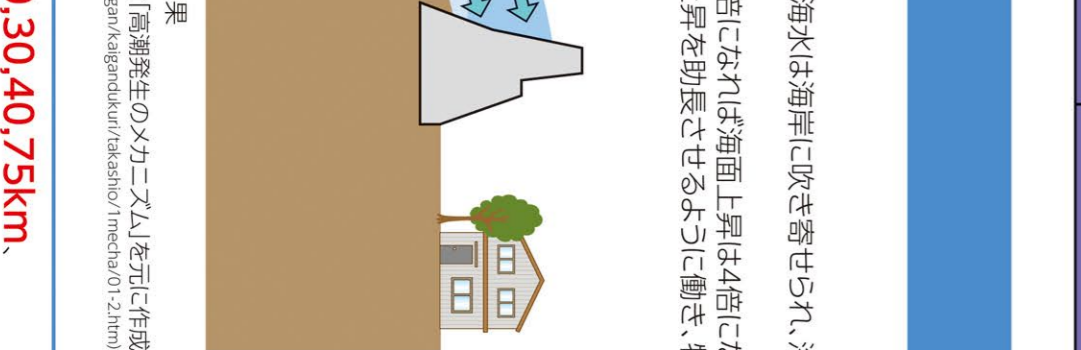
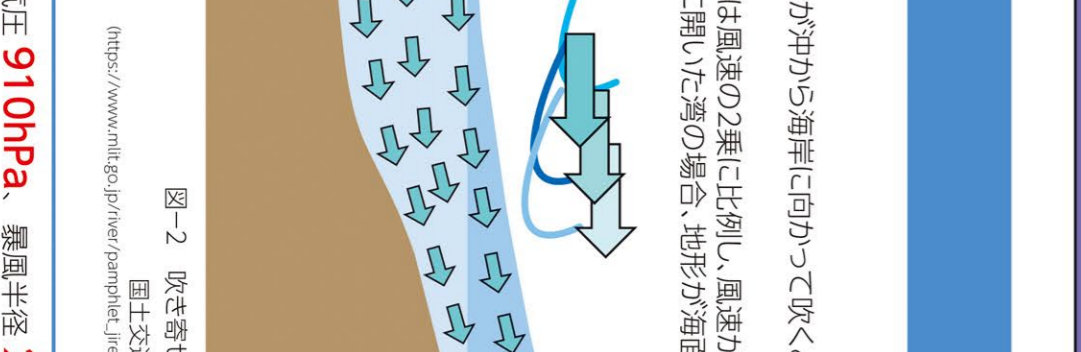
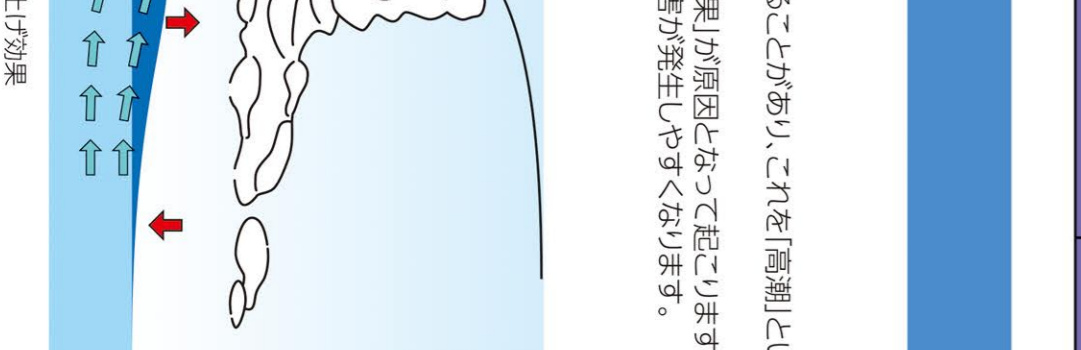
洪水(河川氾濫)とは、大雨によって河川などの水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こします。

想定降雨 1時間で153mmの降雨

想定降雨 宮川水系：24時間で317mmの降雨 侍従川水系：24時間で319mmの降雨

大雨のときはこんな点に注意しよう

集中豪雨に注意しよう 突発かつ局地的な集中豪雨に備えて、ふだんからの様子をチェックしておきましょう。



避難情報がでたら

警戒レベル	とるべき行動	避難情報(横浜市)
警戒レベル5	【命の危険 直ちに安全確保!】 ●災害が発生し、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保
警戒レベル4	【危険な場所から全員避難】 ●直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、避難指示を待たずに、自宅内にある安全な場所へ避難する。	避難指示
警戒レベル3	【危険な場所から高齢者等は避難】 ●避難行動を要する人に高齢の方、障がいのある方、幼い子どもや妊婦、安全な場所へ避難を促す。 ●その他の人は、窓などや避難、持ち出し品が困難な場合は、避難の準備を促すことにより、危険と思ったら早めに避難する。	高齢者等避難
警戒レベル2	【自らの避難行動の確認】 ●避難情報に基づき、避難の準備を確認する。 ●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。	避難情報
警戒レベル1	【災害への心構えを高める】 ●防災気象情報等の最新情報に注意する。	早期注意情報

内水氾濫の発生

大雨が降ると下水道などで全ての雨水を排水できなくなり、内水による浸水が起こります。

洪水(河川氾濫)の発生

激しい雨が降ると、洪水(河川氾濫)の危険が高まります。

避難情報がでたら

身の危険を感じる場合は避難を開始してください。
(情報の入手方法と日頃からの備えの「避難の考え方」もご覧ください)

警戒レベル	とるべき行動	避難情報(横浜市)	警戒レベル相当情報
警戒レベル5	【命の危険 直ちに安全確保!】 ●災害が発生し、命を守るための最善の行動をとる。	緊急安全確保	大規模特別警戒等 氾濫発生情報
警戒レベル4	【危険な場所から全員避難】 ●直ちに身の安全を確保できる場所へ避難する。 ●避難場所までの移動が危険と思われる場合は、避難指示を待たずに、自宅内にある安全な場所へ避難する。	避難指示	土砂災害警戒情報等 氾濫危険情報
警戒レベル3	【危険な場所から高齢者等は避難】 ●避難行動を要する人に高齢の方、障がいのある方、幼い子どもや妊婦、安全な場所へ避難を促す。 ●その他の人は、窓などや避難、持ち出し品が困難な場合は、避難の準備を促すことにより、危険と思ったら早めに避難する。	高齢者等避難	大規模警戒等 氾濫警戒情報
警戒レベル2	【自らの避難行動の確認】 ●避難情報に基づき、避難の準備を確認する。 ●避難情報の把握と、避難手段の確認をする。	避難情報	大規模警戒等 氾濫警戒情報
警戒レベル1	【災害への心構えを高める】 ●防災気象情報等の最新情報に注意する。	早期注意情報	

金沢区高潮ハザードマップ(想定最大規模)

この高潮ハザードマップは、高潮による浸水が発生した場合に、浸水が想定される区域を明らかにするために作成されたものであり、想定最大規模の浸水による浸水範囲を示しています。

色	説明
赤	浸水が想定される区域(想定最大規模)
黄	浸水が想定される区域(想定最大規模)
緑	浸水が想定される区域(想定最大規模)
青	浸水が想定される区域(想定最大規模)
紫	浸水が想定される区域(想定最大規模)
白	浸水が想定されない区域